

# 第76期 中間報告書

平成26年1月1日から  
平成26年6月30日まで

キヤノン電子株式会社



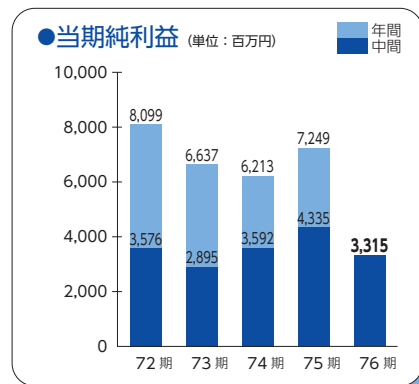
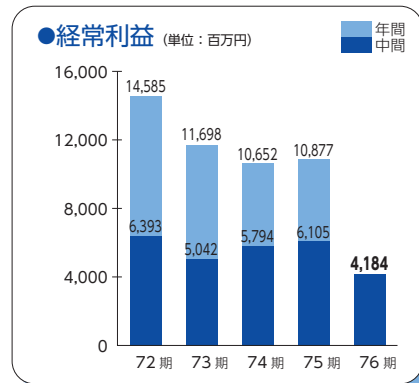
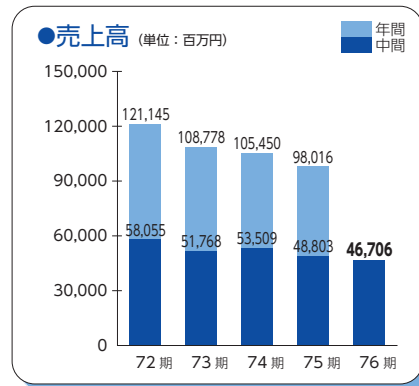
# 第76期中間報告書

平成26年1月1日から平成26年6月30日まで

## CONTENTS

財務ハイライト（連結）	1
ごあいさつ	2
事業の部門別状況	3
連結財務諸表	5
会社の概況	6
株式のご案内	裏表紙

## 財務ハイライト（連結）



経営方針

企業品質向上を目指して  
社会人として思いやりを持った人格の形成  
世界から尊敬と信頼を受ける企業と人

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第76期中間期（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）のご報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期の世界経済は、米国では個人消費が堅調に推移し、景気は回復しています。欧州においても景気は持ち直しの動きが続いています。国内の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、本年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動から一部、弱い動きも見られます。為替は、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円安で推移しました。

このような中で当社グループは、シャッターユニット、ドキュメントスキャナー等の積極的な販売活動を展開するとともに、セキュリティソフトの新製品「SML セキュリティスイート with FFR yarai/SML セキュリティスイート with SiteVisor」や、接着剤の射出成形により製品の防水・防塵加工を可能にした小型電動射出成形機「LS-300i」等の販売に注力してきました。また、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を全社員で強力に推し進めてまいりました。さらに、経営全般にわたるムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力して

まいりました。こうした取り組みの結果、当中間期の連結売上高は467億6百万円（前年同期比4.3%減）、連結経常利益は41億84百万円（同31.5%減）、連結純利益は33億15百万円（同23.5%減）となりました。

このように厳しい事業環境の中ではありますが、中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするために、1株につき30円とし、お支払い開始日を8月26日といたしました。

今後も高機能、高品質、低コストな商品・サービスを展開し、新たなビジネスを創出してまいります。また、強固な企業体質を実現するため、全社員の力を結集し徹底的なムダ排除、更なる生産性の向上、売上の拡大に取り組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年8月

代表取締役社長

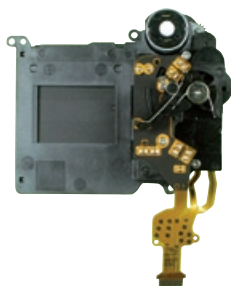
酒 巻 久



## 事業の部門別状況

### コンポーネント部門

デジタルカメラ市場は、レンズ交換式タイプ、コンパクトタイプとも、スマートフォンの普及等の影響により、市場の縮小が続いています。このような中で当社は、セットメーカーのニーズに的確に対応し、シャッターユニットや防振ユニット、絞りユニットなどの積極的な受注活動を展開してまいりましたが、デジタルカメラ関連市場がマイナス成長の状況の下、厳しい状態で推移し、売上は減少しました。



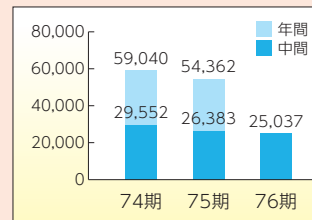
レンズ交換式デジタルカメラ用  
シャッターユニット

レーザープリンターおよびデジタル複合機用のレーザーสキャナーユニットは、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制の強化等を積極的に推し進め、引き続き原価低減に取り組んでいます。事務機用精密加工部品においても、生産性の向上を積極的に進めています。

当部門の連結売上高は250億37百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

#### 売上高

(単位：百万円)



### 電子情報機器部門

ドキュメントスキャナー市場は、文書の電子化需要の増加により引き続き拡大していますが、低価格・コンパクトタイプの市場拡大と新興市場における需要増が成長の要因となっています。このような中で、ドキュメントスキャナー<sup>イメージフォーミュラ</sup>シリーズは、高速スキャンが可能な高耐久タイプの「DR-G1130/G1100」、設置

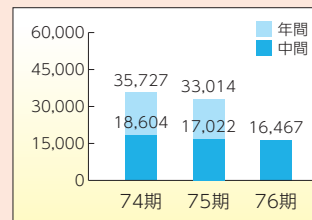


2014年6月発売の新製品  
imageFORMULA DR-M1060

スペースを抑えた高速ラウンドスキャナー「DR-C125」、コンパクトな高速A4スキャナー「DR-M160」などの積極的な拡販活動を展開し、売上を伸ばしました。また、6月には新製品5機種の発売を開始し、一層の売上拡大を図っています。

#### 売上高

(単位：百万円)



ハンディターミナル市場は、スマートフォンやタブレット端末の使用の増加により、新たな市場へのビジネスチャンスが広がりとつあります。このような中で、昨年発売したプリンター一体型ハンディターミナル「プレアGT-30/31」、グリップ型ハンディターミナル「プレアET-100」、電子マネーやクレジットカードの決済機能を搭載した「プレアAT-3300/3700」等のラインアップによる積極的な拡販活動を展開しましたが、厳しい状況で推移しました。

レーザープリンターは、受注確保に向けて、効率的な部品調達、生産性の向上等に取り組むとともに、品質強化に一層努めました。

当部門の連結売上高は164億67百万円（前年同期比3.3%減）となりました。



プレアGT-30/31

## その他の部門

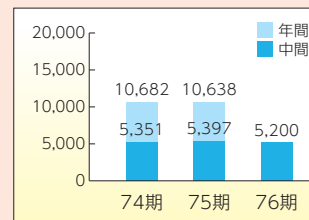
その他の部門では、情報関連事業において、業務分析サービス（ログマネジメント）、情報セキュリティ対策ソフト（SML）等の受注活動を積極的に展開しました。昨年発売した新製品の「SML セキュリティスイート with FFR yarai」の商談案件が増加し、売上増に貢献しました。6月には「SMLセキュリティスイート with SiteVisor」を発売し、SMLとSiteVisorの連携により、マルウェア（ウイルス）の侵入経路を特定するという新しい価値をお客様へ提供しています。

また、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに営業、開発体制の整備を進め、名刺管理サービス「アルテマブルー」、電子カルテ向け「医用辞書」等の既存ソフトウェア等の販売に加えて自治体向けコンテンツマネジメントシステム「じち丸」等の新製品を開発し、販売を開始しました。

環境機器事業は、小型電動射出成形機「LS-300i」、小型三次元加工機「MF-150A」および業務用生ごみ処理機「Land care16 II」を主力商品として積極的な販売活動を展開しました。特に、接着剤の射出成形により製品の防水・防塵加工を可能にした小型電動射出成形機は、医療業界や自動車業界など、新たな業界からの引き合いが増加しました。また、業務用生ごみ処理機は、地方自治体などへの導入が始まるなど、新たな市場を作り始めています。

当部門の連結売上高は52億円（前年同期比3.6%減）となりました。

### 売上高 (単位：百万円)



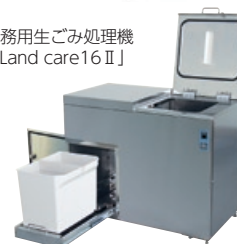
標的型攻撃時代のトータルセキュリティソリューション

**SML with yarai**  
セキュリティスイート

自治体・行政機関向け専用サービス

**じち丸**  
CMS for SaaS

業務用生ごみ処理機  
「Land care16 II」



## 連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表(要旨) (平成26年6月30日現在)

単位：百万円

科 目	当中間期	前期 (ご参考)
( 資 産 の 部 )		
流動資産	[ 57,790]	[ 57,446]
固定資産	[ 38,731]	[ 38,566]
有形固定資産	35,058	34,800
無形固定資産	821	891
投資その他の資産	2,851	2,875
資産合計	96,521	96,013
( 負 債 の 部 )		
流動負債	[ 19,133]	[ 19,614]
固定負債	[ 2,315]	[ 2,445]
負債合計	21,449	22,059
( 純 資 産 の 部 )		
株主資本	[ 74,685]	[ 73,054]
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	61,629	59,561
自己株式	△ 1,508	△ 1,070
その他の包括利益累計額	[ 337]	[ 624]
その他有価証券評価差額金	136	221
為替換算調整勘定	200	403
新株予約権	[ -]	[ 225]
少数株主持分	[ 49]	[ 49]
純資産合計	75,072	73,953
負債及び純資産合計	96,521	96,013

### 中間連結損益計算書(要旨) (平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)

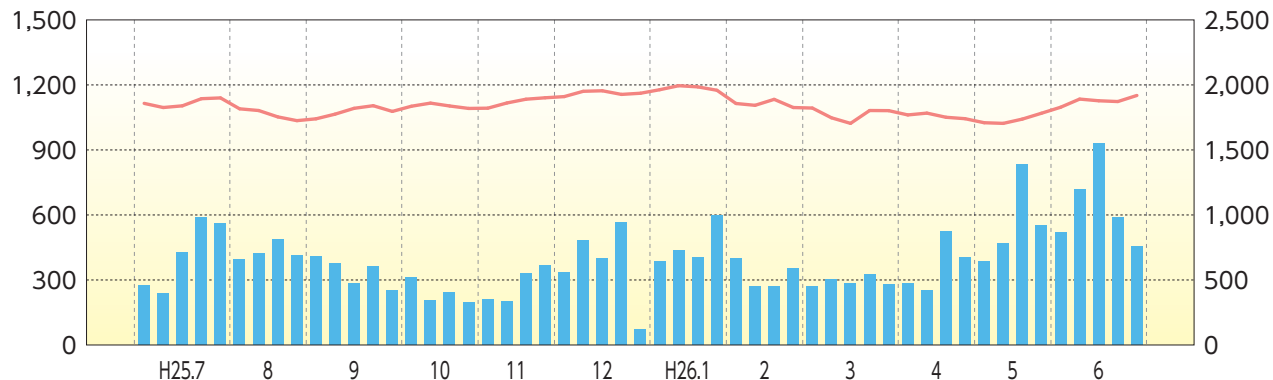
単位：百万円

科 目	当中間期	前年同期 (ご参考)
売上高	46,706	48,803
売上原価	36,762	38,132
売上総利益	9,943	10,670
販売費及び一般管理費	5,456	5,256
営業利益	4,487	5,414
営業外収益	80	693
営業外費用	383	1
経常利益	4,184	6,105
特別利益	225	724
特別損失	58	1
税金等調整前中間純利益	4,351	6,829
法人税、住民税及び事業税	999	2,405
法人税等調整額	36	80
少数株主利益	0	6
中間純利益	3,315	4,335

### 株価 (終値) および出来高の推移 (平成25年7月～平成26年6月)

■ 出来高 (千株)

— 株価 (円)



## 会社の概況 (平成26年6月30日現在)

### ■ 主要な事業内容

部 門	主 要 製 品
コンポーネント部門	シャッターユニット、絞りユニット、ステッピングモーター、磁気ヘッド、磁気センサー、レーザースキャナーユニット、プリント基板実装
電子情報機器部門	ドキュメントスキャナー、ハンディターミナル、レーザープリンター
その他の部門	業務分析サービス、情報セキュリティ対策サービス、名刺管理サービス、顧客情報管理サービス、システム開発・保守・運用、FA機器、環境関連機器、小型電動射出成形機、小型三次元加工機

### ■ 使用人の状況

使用人数 (連結)	前期末比増減	使用人数 (単独)	前期末比増減
5,087名	-390名	1,783名	+18名

■ 発行可能株式総数 60,000,000株

■ 発行済株式総数 42,206,540株

■ 株主数 19,389名

#### ■ 大株主 (10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
キヤノン株式会社	22,500千株	54.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	980	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	712	1.7
ビーエスピー パリバセック サービスルクセンブルグ ジャスデック アパディーン グローバル クライアント アセツ	709	1.7
第一生命保険株式会社	414	1.0
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / BP2S DUBLIN-US PENSION FUND	300	0.7
上田八木短資株式会社	291	0.7
キヤノン電子従業員持株会	240	0.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	239	0.6
株式会社みずほ銀行	234	0.6

注. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (846,601株) を控除して算出しております。

### ■ 取締役および監査役

地 位	氏 名
代表取締役社長	酒 巻 久
取締役副社長	橋 元 健
専務取締役	江 原 孝 志
常務取締役	石 塚 巧
取 締 役	大 谷 一 夫
取 締 役	常 藤 恭 司
取 締 役	内 山 毅
取 締 役	新 井 忠
取 締 役	周 耀 民
取 締 役	山 下 芳 生
取 締 役	高 橋 純 一
取 締 役	清 水 栄 一
常勤監査役	川 名 達 也
常勤監査役	黒 澤 明
監 査 役	荒 木 誠
監 査 役	北 村 国 芳

■ 会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 株式のご案内

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
上記基準日	毎年12月31日
中間配当基準日	毎年6月30日
期末配当基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人 および 特別口座 口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株式事務のお問合せ先	住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の振込指定等のお手続きは、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 未払い配当金のお支払い手続き、または特別口座に記録された株式に関するお手続きは、下記みずほ信託銀行にお問合せください。 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
証券コード	7739



### 表紙写真

撮影 山岳写真家 新井靖雄氏 (秩父市在住)  
昭和21年埼玉県秩父市生まれ  
環境省自然保護指導員  
奥秩父をテーマにした山岳写真の撮影を続けている  
山岳写真集「奥秩父の四季」、  
新井靖雄写真集「奥秩父」を出版

## Canon キヤノン電子株式会社

### 本 社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地  
電話 0494-23-3111

### 東京本社

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番10号  
電話 03-6910-4111

### インターネットホームページ

<http://www.canon-elec.co.jp/>